

梅若会定式能

舞囃子 菊慈童 井上 燎治

能 俊 寛

川口 晃平
山中 透晶
土田 英貴

狂言 萩大名 三宅 右矩

三宅 近成
三宅 右近



令和四年七月十七日(日)
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館
自由席 四、〇〇〇円



俊

寛

土田 英貴
山中 逐晶
川口 晃平

福王 和幸

幸 亀井 広忠
正昭

一噌 隆之

間前田 晃一

後見 小田切康陽
梅若 紀彰

地謡

松山 隆之
小田切亮磨
山崎 友正
鷹尾 雄紀
角当 角当
実改メ 梅若
角当 行雄
松山 隆雄
桜雪 直隆

萩大名

三宅 右矩

三宅 近成
三宅 右近

《休憩十五分予定》

狂言

菊慈童

井上 療治

幸 亀井 広忠
正昭

大川 典良
一噌 隆之

地謡

梅若 英寿
山崎 正道
内藤 幸雄
会田 昇
梅若長左衛門

蝉丸

鈴木 矜子
高橋 栄子

仕舞

白楽天

梅若長左衛門

芭蕉

蕉キリ 角当 行雄

地謡

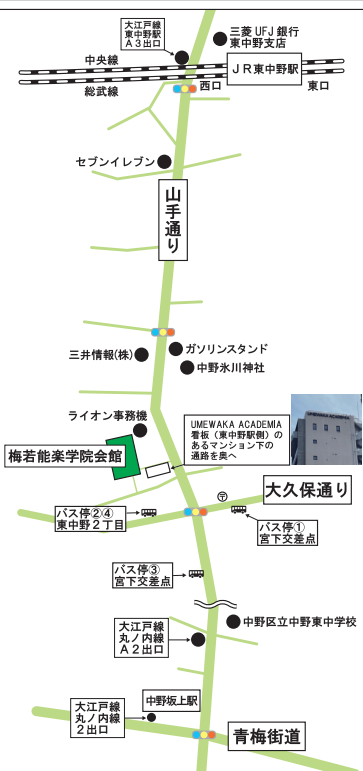
女郎花

松山 隆之

山崎 友正

舞囃子

連吟



<JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
<地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
<バス>
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス(渋64:中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス(渋64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL:03-3363-7748
FAX:03-3363-7749

『菊慈童』(能のあらすじ) 中国酈縣山々てっけんさんゝの麗から薬水が湧き出ると聞いた帝は勅使を現地へ送る。勅使が菊の咲き乱れる山路に分け入ると、一つの庵に異様な者が居り、尋ねると周の王に寵愛される慈童だと言う。勅使は今文帝の世で、周の王の代からは既に七百年を経ていると言う。すると慈童は周の王から賜った枕を示す。枕には仏典をたたえる句が添えてありそれを菊の葉に書きおくとその雫は不老不死の薬となり、長寿を保つたのだと言う。慈童はその霊水を勅使にもすすめ、帝の徳をたたえる。

『俊寛』 平家討伐の陰謀が暴かれ、この陰謀に加担した俊寛僧都・平平官康頼・丹波少将成経は絶海の孤島鬼界が島に流刑される。平清盛は娘の建礼門院が天皇の子を宿すと、皇太子誕生を願う大赦令を出す。鬼界が島の三人が水を酒に見立て飲み交わし菊の節句の宴を開いていると三人のもとへ赦免使が訪れ赦免状を渡す。喜ぶ三人のうち康頼が状を読み上げると俊寛は自分の名前が無いことに気づき、自分一人許されなことを嘆く。使者が康頼・成経を船に乗せると俊寛は纜にしがみつくが、使者は櫓を振り上げ俊寛を押し切つて船を出す。船を見送り号泣する俊寛はただ一人渚に取り残される。

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 4,000円・正面指定料別途 1,000円 (指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当館は自主公演前に全館ウイルス除菌及び消毒を行います。着席は一席毎、上演中も常に換気を行い密を回避します。
- ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願いします。
当日は館内における飲食を禁止と致します。お客様ご自身による健康管理をよろしく申し上げます。
※個人情報は チケット裏面にご記入頂きます。

